

関東有数、越生地区・毛呂山地区産のゆず100%使用、製造は羽生市の東亜酒造
埼玉県内産にこだわった『香りさわやかゆず酒』
6月18日より販売開始

コープみらい（本部：さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、関東有数のゆずの産地、越生・毛呂山地区産に限定したゆずを原料に使用したりキュール『香りさわやかゆず酒』を、6月18日（月）より県内の全44店舗で販売いたします。（宅配サービスでの注文も18日より開始します）



— 商品概要 —

- ・商品名：「香りさわやかゆず酒」
- ・容 量：1,000ml
- ・アルコール度数：10度
- ・原材料：ゆず（越生地区・毛呂山地区産）、醸造アルコール、果汁、糖類、酸味料
- ・価 格：598円（税抜き）
- ・製 造：株式会社東亜酒造（埼玉県羽生市）
- ・発売日：6月18日
- ・販 売：埼玉県内全44店舗、
宅配サービスは6月18日から受注開始

※本商品は埼玉県のほか、東京都・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県・長野県・新潟県のコープデリ連合会会員生協でも販売いたします。

コープみらいが加盟するコープデリ連合会（本部：さいたま市、理事長：土屋 敏夫、会員生協：関東信越の7生協）では、組合員の声を反映した商品の取り扱いを進めております。『香りさわやかゆず酒』は、“地元産の原料にこだわった果実酒を取り扱ってほしい”との要望を契機に、組合員がゆずの生産者（JAいるま野）を訪ねて収穫を体験したり、製造会社の株式会社東亜酒造（羽生市）の工場を視察したりするなど、産地・メーカーと交流を重ねながら商品化を進めました。「県内産のゆずを使ったお酒作りは地産地消にもつながる。埼玉県民としても楽しみ」など、組合員から期待の声が寄せられています。



JAいるま野（ゆず部会）を訪問し、生産者とともにゆずの収穫を体験しました

コープみらいはこれからも、組合員の声を大切にしながら、地域の生産者やメーカーと協力した、地元ならではの、コープならではの商品の取り扱いを進めてまいります。

《生活協同組合コープみらい 概要》

- 【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5
- 【理 事 長】新井 ちとせ（あらい ちとせ）
- 【組 合 員 数】343万人（2018年5月20日現在）
- 【総 事 業 高】3,898億円（2017年度）
- 【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都
- 【ホームページ】<http://mirai.coopnet.or.jp/>